

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス あすなる		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2025年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ~ 2025年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用者とのコミュニケーション	連絡帳や送迎で利用者のことを細かく伝えるように全職員気をつけている。また、一緒に考えて、関わる姿勢を常に持ち、利用者ファーストを意識している。	・面談の期間を狭めたりし、より利用者と一緒に考えることのできる場を設ける。 ・送迎時、伝えてほしいことの共通認識を持つため、研修を行う。
2	集団活動を毎日行い、その集団活動が毎日同じプログラムにならないようにしているところ。	常勤だけではなく、非常勤にも集団活動を企画及び実施してもらうことにより、偏った集団活動にならないように留意している。また、保育士だけでなく、理学療法士にも集団を実施してもらうことにより、専門性の高い集団も受けられるようにしている。	各指導員が常にリサーチを怠らず、被っているものがあつた場合、互いに意見を言うことができるような雰囲気作りをする。また、集団内容に職員も興味を引く内容にする。
3	子どもの安心できる場になっている。	職員全体で、子どもに真剣に向き合い、人と人との繋がりを大事にしています。その中で、叱られることがあっても、その後、子どもの気持ちを考え、フォローするようなかかわりをするようにしている。	職員全体で報連相を細めに行い、児童の共有すべき事項の漏れを防ぐ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間の変更や送迎の変更に対して漏れが生じていた。	記録に残す習慣がなく、職員間での口頭のみやりとりであった。また、管理している職員が退勤したことで、次の日に伝えることを忘れてしまっていた。	時間変更等の漏れがないように共有リストを作り、職員へ周知する。また、もし、聞かれた際に分からなくとも、一旦持ち帰り、保護者と双方が確認できるようにする。変更は電話だけではなく、メールも検討はする。
2	支援終了後に本日の振り返りを行う時間をとることができていない。	退勤時間が異なることで、出勤者が集まるのが難しい現状がある。また、意見を発信できる職員とできない職員の差ができ、振り返りが聞ける日と聞けない日が存在している。	朝のミーティングを行うようにし、児童記録の読み上げや昨日気づいたことの共有をまずは常勤で行い、必要事項を非常勤へ伝達していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会の確保	地域活動への情報の不十分さがあり、地域との交流機会をとることができない状況が続いている。	外部研修等を活かして、まずは職員の交流の機会を確保し、情報収集を行う。その中で、得た情報を基に機会の確保を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あすなろ

公表日 2025年2月10日

利用児童数

8名

回収数

3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				色々なプログラムを実施していると思う	これからも様々なプログラムを行い、発信していく。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2			2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				丁寧に説明して頂きわかりやすかった	利用者主体で説明できるよう今後も気をつける。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				送迎の際に様子を教えて頂ける	送迎時だけでなく、連絡帳でも様子が分かるような内容にしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			2		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1	時間の変更や送迎の変更を伝えていても、別の先生に伝わっていないので、こちらから「〇〇先生には伝えました。」と言うか、連絡帳に記載するのがいいのかなどと思いました。	時間変更等の漏れがないように共有リストを作り、職員へ周知する。また、もし、聞かれた際に分からなくとも、一旦持ち帰り、保護者と双方が確認できるようにする。変更は電話だけではなく、メールも検討はする。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2			1	上記に同じ。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス あすなる					公表日	2025年2月10日	
		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点		
			はい	いいえ	未回答				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		・子ども達が集合で遊べる。運動できる場所及び個別で勉強できる場所を設ける等行っている。・活動内容に合わせて、机、椅子等移動させてスペースを作る。	・少し狭いように思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	1	・担当者毎に子供たちの健康状態に注意している。	・ある程度の余裕をもち、上司の休める環境となつてほしい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		・学習部屋と自由活動部屋が分かれている。 ・バリアフリーで靴の着脱時は椅子あり。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・日々職員が環境整備を行っている。	・もう少し広げればのびのびと遊べると思う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		・学習室で個別対応可能。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・適宜、職員会議をしている。 ・勉強会や研修等の発表により、知識を共有している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		2	・日々送迎時や面談時にコミュニケーションをとれている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		2	・日々のミーティング等で改善している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・定期的に全員参加で行っている。・定期的に管理者を中心に全職員と対話形式にて研修会を開き資質の向上を図っている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		1				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			・1~6か月以内に個別で、アセスメントやモニタリング、再評価の実施を行っている。・職員各々が子ども達に対して気づいたことを話し合い記録し共有し各々の子ども達に矛盾を感じさせないよう接している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		1	・全職員が共通理解ができている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	1	・適宜確認している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	1				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	1				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		1	・各職員が季節やイベントに工夫している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7						
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7						
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	1			・できないことも多い。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	1			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		1			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		2		・わからない。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		1			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7					
	28	(28～30は、センターのみ回答)						
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答)						
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	3			・ほとんどない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		1				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	2				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		2			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		2			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		2			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		1			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	2			・そういった活動をしていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		1			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	3			・送迎時に話す。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		2			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		1			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	2			・行事をしていないので交流はなし。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・定期的に職員研修を行い、緊急時に備えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2			